

ノルディックウォーキングを ご存知ですか？



ノルディックウォーキング(ポールウォーキング)は、スキーのストックのような2本の専用ポールを使って歩くウォーキング法で、北欧の国フィンランドで生まれました。近年は日本でも注目を集め、全身の筋肉を90%も使う有酸素運動として、ダイエットや健康維持に人気のウォーキング法となっています。



2018年11月開催のポールウォーキング&ピクニック参加者集合写真(醒ヶ井養鱒場にて) ※参加者の半数以上がリピーターさんです。

消費カロリーは
通常の1.4倍 上半身のシェイプ
アップに有効

効果

膝・腰への
負担が少ない 姿勢よく歩ける

週3回・1日30分から始めてみよう!慣れてきたら、回数や時間を増やしていこう!

健康に歳を重ねるために、水泳や縄跳びといった有酸素運動より簡単に始められるノルディックウォーキング(ポールウォーキング)と一緒に歩きませんか?

滋賀の隠れた桜と菜の花の名所
“余呉湖”を
ポールウォーキング&ピクニック

2019年4月11日(木)

全日本ノルディック・ウォーク連盟公認ウォーキングライフマイスターのお馴染み高野先生と一緒に歩きます。現地までは、バスで遠足気分!春の余呉湖でランチもお楽しみに!

秋のポールウォーキング&ピクニック計画!

広報やfacebookでお知らせします
教室や講習会、随時実施中

詳細については
NPO法人 近江八幡市中間支援センターまで
TEL:0748-33-5510

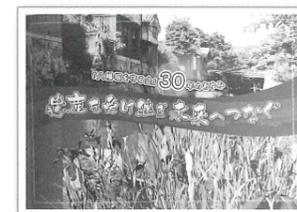
はーとらんど通信 vol.8

HEART LAND OHMIYACHIMAN 2019.3月号
(一財)ハートランド推進財団 情報誌

平成30年度 事業活動報告

助成金贈呈

平成30年6月20日(水)
八幡堀を守る会へ30万円の助成
30周年の歩みをまとめた冊子の発刊、花しょうぶの植替えの花株等の一部として役立てられました。



ハートランド推進賞授賞式

平成30年9月29日(土)
< 個人の部・中守 秀雄氏 >
平和への願いを込めて、鈴虫の飼育と放虫を表彰
< 団体の部・八幡堀を守る会 >
八幡堀の保全活動、郷土愛を育み次世代への道しるべとなる活動を表彰



活動支援

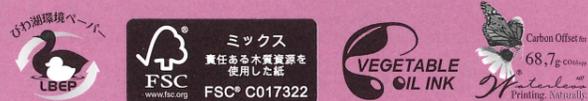
- ◎5月 第9回茶談話会
- ◎6月 花しょうぶ茶会
- ◎7月 秀次公顕彰法要
- ◎7月 八幡堀釣り大会
- ◎8月 西の湖と葦を学ぼう
- ◎9月 第48回八幡塾
- ◎10月 茶談話会
- ◎11月 市民活動交流会
- ◎2月 第49回八幡塾
- ◎毎月 ラジオ(パチパチはちまん)収録、放送



新元号となる2019年度も
市民活動を支援し
「心のふるさと」近江八幡の
まちづくりに取り組んで参ります



HEART LAND OHMIYACHIMAN
(一財)ハートランド推進財団 事務局
〒523-0864 近江八幡市為心町元9番地(白雲館内)
TEL.0748-33-5510/FAX.0748-33-5697
E-mail. chukan@npo-omi8man.com



この印刷物は、経団連の環境保全活動を支援する寄付金付印刷用紙びわ湖環境ペーパーを採用しています。また、適切に管理された森林の木材を利用したFSC®認証用紙を使用し、大豆油インキを包含した植物性インキ及び、有害な廃液を排出しない水なし印刷を用い、その製造及び廃棄におけるCO2排出量をCOJを通しカーボンオフセットしています。この印刷物1部あたりのCO2排出量は上記の通りです。

《交通のご案内》

JR 近江八幡駅北口バス乗り場より近江鉄道バス「長命寺」行き→「大杉町」下車、徒歩2分

第48回 八幡塾

平成30年 9月 29日(土)

『旧市街地の現状と可能性』 藤木 良明 氏



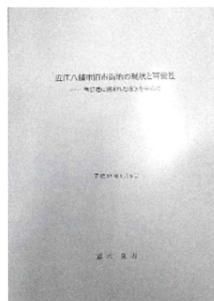
講演される藤木良明氏

ひまわり館大ホールに於いて開催し、88名のご来場を賜りました。「八幡堀再生と町づくりの時代背景」のお話の中で、これまで関わってきた市民や行政の取り組みを改めて学び、「重伝建地区の人口動態」と「町並み構成」については、藤木先生の調査に基づいた資料による旧市街地の人口構成や伝統町家の分布、近江八幡の伝統町家の特徴や変遷をとともわかりやすく説明していただき、空き家と空き地や駐車場が増加し町並みの連担性が崩壊しつつある窮状を知ることが出来た。

空き家化、空き地化が増える一方で伝統町家の再生への動きもあるが、伝統的な街並みを無視した家屋が建築されていると指摘され、伝統町家の保全・修景体制に対する民意の意識を高める必要性、そして市の文化行政体制の見直しを強く訴えた。

最後にご挨拶いただいた小西市長は重伝建地区の保存活動をはじめ、今後の文化行政に対する取り組みにも理解を示された。

今回の八幡塾で「旧市街地の現状と可能性」を藤木先生に図表等によりビジュアル提示していただいたことで、まちづくりに対しての意識改革になったことは、多くの参加者からの感想からもうかがうことができた。



貴重な講演内容をまとめた冊子(3,000円)



第49回 八幡塾

平成31年 2月 16日(土)

『信長神の神殿安土城』 大沼 芳幸 氏



講演される大沼芳幸氏

第49回八幡塾は「信長 神の神殿 安土城」一本能寺の変はなぜ起きたのかという、歴史好きな人には興味のあるタイトルでした。

平成最後となる八幡塾は、講師に大沼芳幸氏（滋賀県文化財保護協会普及専門員で元安土城考古博物館副館長）を迎えて、信長ゆかりの地安土のコミュニティセンターで開催しました。

年頭に三日月知事から安土城の再建に関する発言や、次のNHK大河ドラマに明智光秀を主人公にした「麒麟が来る」が決定していることもあり、安土城への関心の高まりから、会場は定員をオーバーする盛況でした。

信長は安土城を戦闘のための城としては考えておらず、自らを神とし、その神殿を安土城とした内容は面白く聞かせてもらいました。

しかし、帝の存在をもおびやかすその考えは、信長の家来の中にも、光秀のように「止めさせねばならない」という強い思いから、本能寺を襲ったのかもしれないと感じました。

今回の八幡塾には安土の人も多く参加いただき、ハートランド推進財団の願う、安土と近江八幡のまちづくり、歴史・文化・景観の保存などに近づけてきたと喜んでいきます。



コラム

休眠預金 を活用する法律が成立し、2019年1月から10年以上取引の無い預金（口座）が休眠預金として、社会的インパクト評価により、社会公益活動の資金として活用されることになりました。休眠預金は、年間700億円ほどになると言われていますが、それが、市民活動等に活用されるようになると、大きな資金となると考えられます。初年度は、そのうちの50億円程度を

- ① 「子ども・若者に関する活動」
- ② 「日常生活・社会生活を営む上での困難を有する者への支援活動」
- ③ 「地域社会における活力低下、その他社会的に困難な状況に直面する地域への支援活動」

に向けられることとなります。まだ、この制度もスタートするところですから、色々と試行錯誤もあると思いますので、今後対象となる活動内容や、支援団体が増えていくことを願っています。※基本は「民間の力を活かす」という前提で（一財）日本民間公益活動連携機構が担います。

！ ご注意ください！

もし10年以上、取引の無い預金口座は休眠預金として社会公益活動に使用されることとなります。

